

ド ($C_8H_8Cl_3N_3O_4S_2$) 98.0 % 以上を含む。

性状 本品は白色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なにおいがある。

本品は *N,N*-ジメチルホルムアミドに極めて溶けやすく、ジメチルスルホキシド、アセトン又は *n*-ブチルアミンに溶けやすく、エタノール (95) に溶けにくく、水又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

本品は水酸化ナトリウム試液に溶ける。

融点：約 270 °C (分解)。

確認試験

(1) 本品 0.02 g に水 5 mL 及び *n*-ブチルアミン 1 mL を加えて溶かし、硫酸銅 (II) 試液 2 ~ 3 滴を加え、よく振り混ぜる。これにクロロホルム 5 mL を加えて振り混ぜ、放置するとき、クロロホルム層は緑色を呈する。

(2) 本品 0.01 g を水酸化ナトリウム試液 2 mL に溶かし、直火で 2 分間加熱する。冷後、希硝酸 3 mL 及び硝酸銀試液 1 滴を加えるとき、白色の沈殿を生じる。また、本品 5 mg にクロモトローブ酸試液 5 mL を加えて 5 分間放置するとき、液は紫色を呈しない。

(3) 本品 0.015 g を水酸化ナトリウム試液 100 mL に溶かす。この液 10 mL に水を加えて 100 mL とした液につき、紫外可視吸光度測定法により吸収スペクトルを測定し、本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき、同一波長のところに同様の強度の吸収を認める。

(4) 本品 0.01 g をとり、薄めた過酸化水素 (30) (1 → 5) 10 mL を吸収液とし、酸素フラスコ燃焼法により操作し、検液を調製する。装置の A の上部に少量の水を入れ、注意して C をとり、メタノール 15 mL で C、B 及び A の内壁を洗い込み、ここで得た液を試験液とする。試験液 15 mL に希硝酸 0.5 mL を加えた液は塩化物の定性反応 (2) を呈する。また、残りの試験液は硫酸塩の定性反応 (1) を呈する。

純度試験

(1) 塩化物 本品 1.0 g をアセトン 30 mL に溶かし、希硝酸 6 mL 及び水を加えて 50 mL とする。これを検液とし、試験を行う。比較液は 0.01 mol/L 塩酸 1.0 mL にアセトン 30 mL、希硝酸 6 mL 及び水を加えて 50 mL とする (0.036 % 以下)。

(2) 硫酸塩 本品 1.0 g をアセトン 30 mL に溶かし、希塩酸 1 mL 及び水を加えて 50 mL とする。これを検液とし、試験を行う。比較液は 0.005 mol/L 硫酸 1.0 mL にアセトン 30 mL、希塩酸 1 mL 及び水を加えて 50 mL とする (0.048 % 以下)。

(3) 重金属 本品 1.0 g をとり、第 2 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 2.0 mL を加える (20 ppm 以下)。

(4) ヒ素 本品 0.6 g をとり、第 3 法により検液を調製し、装置 B を用いる方法により試験を行う (3.3 ppm 以下)。

(5) 芳香族第一アミン 本品 0.025 g をとり、アセトンに溶かし、正確に 100 mL とする。この液 1 mL を正確に量り、希塩酸 3.0 mL、水 3.0 mL 及び亜硝酸ナトリウム溶液 (1 → 30) 0.15 mL を加えて振り混ぜた後、1 分間放置する。この液にアシド硫酸アンモニウム試液 1.0 mL を

加えて振り混ぜ、3 分間放置した後、*N,N*-ジエチル-*N*-1-ナフチルエチレンジアミンシウ酸塩試液 1.0 mL を加えて振り混ぜ、5 分間放置する。この液につき、アセトン 1.0 mL を用いて同様に操作して得た液を対照とし、紫外可視吸光度測定法により試験を行うとき、波長 525 nm における吸光度は 0.08 以下である。

乾燥減量 0.5 % 以下 (1 g, 105 °C, 3 時間)。

強熱残分 0.10 % 以下 (1 g)。

定量法 本品を乾燥し、その約 0.3 g を精密に量り、水/ジメチルスルホキシド混液 (1 : 1) 50 mL を加えて溶かし、0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液で滴定する (電位差滴定法)。同様の方法で空試験を行い、補正する。

$$0.1 \text{ mol/L 水酸化ナトリウム液 } 1 \text{ mL} \\ = 38.066 \text{ mg } C_8H_8Cl_3N_3O_4S_2$$

貯法 容器 密閉容器。

トリコマイシン

Trichomyacin

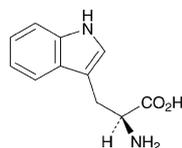
本品は日本抗生物質医薬品基準のトリコマイシンの条に適合する。

性状 本品は黄色～黄褐色の粉末である。

本品はピリジンに溶けやすく、水、エタノール (95) 又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

L-トリプトファン

L-Tryptophan



$C_{11}H_{12}N_2O_2$: 204.23

(2*S*)-2-Amino-3-(indol-3-yl)propanoic acid [73-22-3]

本品を乾燥したものは定量するとき、L-トリプトファン ($C_{11}H_{12}N_2O_2$) 98.5 % 以上を含む。

性状 本品は白色～帯黄白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味はわずかに苦い。

本品はギ酸に溶けやすく、水に溶けにくく、エタノール (95) に極めて溶けにくい。

本品は希塩酸に溶ける。

確認試験 本品を乾燥し、赤外吸収スペクトル測定法の臭化カリウム錠剤法により試験を行い、本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき、両者のスペクトルは同一波長のところに同様の強度の吸収を認める。

旋光度 $[\alpha]_D^{25}$: -30.0 ~ -33.0° 本品を乾燥し、その約 0.25 g を精密に量り、水 20 mL を加え、加温して溶かし、冷後、水を加えて正確に 25 mL とし、層長 100 mm で測定する。

pH 本品 1.0 g を水 100 mL に加温して溶かし、冷却した